

# 町医者だより

平成20年01月号

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

ジャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポー改札口)

1分ミスタードーナツ並び

スーパーつるかめ(旧フレック)2階

電話047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器科

## アトピー咳（アトピー咳嗽）について

アトピー咳（アトピー咳嗽）という言葉をご存じですか？長引く咳で医療機関を受診し医師からアトピー咳ですと言われたことがある方もいらっしゃると思います。本日はアトピー咳の話です。

### アトピー咳とは何か？

金沢大学の藤村先生が1992年から提唱しています。アトピー（アレルギー）素因を持つ方で、咳の感受性が増加しているが、気道過敏がない咳をアトピー咳（アトピー咳嗽）と定義していて喘息に移行することはないとしています。

### アトピー咳の診断

ただ単にアトピー（アレルギー）素因をもっている方に見られる咳、ということではありません。診断にたどり着くには2種類の吸入試験を行わなくてはなりません。カプサイシンという咳を誘発する物質（トウガラシの成分で一時カプサイシンダイエットなるものが流行しました）を吸入する「咳感受性試験」で咳が出やすい状態である事を証明し、メサコリンという気管支を狭くする薬物を吸入して気管支狭窄が起こるかを見る「気道過敏試験(アストグラフィー検査)」を行ない異常がない事を確認する必要があります。

### 喘息に関連した疾患と考えるべきではないでしょうか

アトピー咳の定義の問題点は、「咳感受性試験」と「気道過敏試験」がどのような身体の変化を反映しているのか、またこの二つの検査がどのように関連しているのかがはっきりしないことです。つまり、アトピー咳という言葉は「病名」というよりは「咳感受性試験」と「気道過敏試験」の結果の「分類」名です。そもそも、喘息で見られる「可逆性のある気流制限」と「気道過敏」の正確なメカニズムや関連性すら十分に解明されていません。この二つの病態は年齢によって、あるいは季節によって、さらには一日の中でも変動します。詳しく話をお聞きしても40歳や50歳まで喘息が発症しなかったというアトピー素因を持つ患者さんも大勢いらっしゃいますので、典型的な喘息の症状や所見が数年間ないからといって喘息とは違う病気だと断言するのは危険です。喘息は、単一の病気ではなく、原因や病態が多様な病気の集合体と考えるべきです。医師も安易にアトピー咳という言葉を用いて喘息の吸入ステロイドによる早期治療の機会を奪うことを避けなければなりません。